

学校概要

本校は、病気等により、継続して医療や生活上の管理が必要な子どもたちが「病気を治しながら学習できる」特別支援学校です。

小学部・中学部・高等部が設置され、児童生徒の病状や障害の程度に応じた複数の教育課程が編成されています。

- (1) 小学校・中学校・高等学校の当該学年の教科指導を主とした教育課程で学習する通常学級
- (2) 知的障害特別支援学校の教育課程や自立活動を主とした教育課程で学習する重複学級
- (3) 病状上、病室で実態に応じて学習を行うベッド学級
- (4) 病棟内で、自立活動を主とした教育課程で学習をする院内学級

児童生徒数は114名で、小学部37名、中学部38名、高等部39名が在籍しています(R7年4月1日現在)。家庭や病院、関係機関との緊密な連携に努め、児童生徒の理解と、一人一人の教育的ニーズに応じた教育を行っています。

校訓

『強く 明るく』

教育方針

病気や障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服し、生涯にわたって心豊かにたくましく生きる児童生徒を育成する。

教育目標

- (1) 心身の調和的発達の基盤を培い、健康の回復・改善を推進
- (2) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と情報化社会に対応する技術や能力の育成
- (3) 人権尊重の精神と他者を思いやる温かい心の育成
- (4) 豊かな人間性や社会生活に必要な態度及び集団生活に参加する態度の育成
- (5) 医療、福祉等関係機関や家庭との緊密な連携

本年度の努力目標

- (1) 児童生徒の障害や病気の状態に応じた指導・支援の充実
- (2) ICT機器を活用した効果的な学習の推進
- (3) 人権尊重の上に立った教育活動や指導の徹底
- (4) 児童生徒が安心・安全に活動できる教育環境の整備
- (5) 医療・福祉等関係機関や家庭との連携による支援体制の構築

各部の経営

小学部

目指す子ども像

『友達と一緒に 自分らしく 力いっぱい活動できる子』

経営の方針

- (1) 児童の実態把握を的確に行い、一人一人の教育的ニーズに対応した教育活動を行うとともに、家庭や病院、関係機関と連携・協力することで、個々の力を十分に発揮できるようにする。
- (2) 基本的生活習慣の形成や基礎的・基本的な知識・技能の定着を図り、安定した生活を送るとともに、元気に活動できるようにする。
- (3) 集団のなかで友達を意識しながら活動することで、対人関係を育て自立心を養う。

中学部

目指す子ども像

『健康で 友達と協力し合える たくましい生徒』

経営の方針

- (1) 生徒の実態と教育的ニーズに即した、きめ細かな教育活動の展開を図るとともに、家庭や関係諸機関等との緊密な連携・協力を行い、総合的な教育支援を推進する。
- (2) 集団や社会の決まりを理解するとともに、その一員としての自覚を深め、協調性を養い、共に学び助け合う集団づくりを行う。
- (3) 基本的生活習慣や知識・技能を身に付けるとともに、生活に根ざした経験や学習を通して明るくたくましく生活しようとする力を育てる。
- (4) 生徒の健康安全の確保を基盤にし、個々のもつ感覚・運動機能に働き掛け、障害による困難の改善及び克服を目指す。

高等部

目指す子ども像

『創意にあふれる心豊かな生徒』

経営の方針

- (1) 自ら学びたいという意欲を育て、卒業後の社会生活に生かせる基礎学力や適応力を育てる。
- (2) 疾病や障害に関する自己理解を深めるとともに、自分自身の過去、現在、未来を見つめて、よりよく生きようとする強い意志を育てる。
- (3) 家庭や医療機関、行政、福祉サービス事業所、地域等と連携し、多職種連携の相互協力体制のもとで生徒の自己実現を目指す。